

2017年の北陸地方の天候経過

- 北陸地方の天候の特徴と気象トピックス -

(春から初夏にかけて少雨・多照、梅雨入り以降は多雨)

冬(2016年12月～2017年2月)は、1月中旬から下旬前半にかけてと、2月上旬後半から中旬前半にかけては一時的に冬型の気圧配置が強まり、山沿いや山地を中心に大雪となった所もあったが、冬型の気圧配置は長続きせず、暖冬・少雪だった。

春(3～5月)は、天気は概ね数日の周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れた日が多い時期があった。日本の北の低気圧に向かって暖かい空気が流れ込みやすく、また、5月は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

夏(6～8月)は、6月は梅雨前線が日本の南海上に停滞して高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、7月は日本海に停滞した活動の活発な梅雨前線で、8月は台風第5号の通過や湿った空気の影響で、ともに大雨となった日があった。北陸地方の梅雨入りは6月25日ごろで平年よりかなり遅く(平年は6月12日ごろ)、梅雨明けは8月2日ごろで平年より遅かった(平年は7月24日ごろ)。

秋(9～11月)は、10月に台風や前線、低気圧、11月中旬以降は気圧の谷や寒気の影響で降水量は多く、9月上旬や11月は寒気の影響で気温は低かった。10月下旬は2つの台風(第21号・第22号)が北陸地方に接近したため降水量が多くなり、北陸地方平均平年比はこれまでの極値を更新した。また、11月の後半は強い寒気が流れ込んだため北陸地方の各地で平年より5日から13日早い初雪となり、山沿いや山間部では積雪となった所もあった。

12月は、冬型の気圧配置の日が多く、曇りや雨または雪の日が多かった。気圧の谷や低気圧の影響で降水量はかなり多く、一時的に冬型の気圧配置が強まり、大雪となった所があった。北陸地方平均の年平均気温の平年差は、+0.1 で平年並だった。

台風の発生数は平年並の27個だった(平年の年間発生数は25.6個)。日本への上陸数は平年(2.7個)を上回る4個だった。北陸地方への接近数は北陸地方を通過した2個を含めて4個だった(平年の北陸地方への接近数は2.5個)。(2017年12月26日現在、速報値)

北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

冬(2016年12月～2017年2月) - 暖冬・少雪だが、冬型が強まる時期があった -

低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の日が多かったが、移動性高気圧に覆われて晴れた日もあった。寒気の影響は小さく、12月は、一時的に冬型の気圧配置が強まったが、南から暖かい空気が流れ込んだ時期があり、気温は高く、降雪量はかなり少なかった。1月は、中旬のはじめから中頃まで冬型の気圧配置が強まり、山沿いや山地を中心に大雪となった所があった。2月は、下旬後半から中旬前半にかけて冬型の気圧配置が強まり、西日本を中心に強い寒気が流れ込んだため、福井県を中心に大雪となった所があり、10日には福井県小浜で81センチの積雪差日合計を観測し、これまでの年の極値を更新した。

気温は、12月、1月は高く、2月は平年並で、3か月平均では高かった。

降水量は、12月、1月、2月はともに平年並で、3か月合計でも平年並だった。

日照時間は、12月、1月は多く、2月は平年並で、3か月合計では平年並だった。

降雪量は、12月はかなり少なく、1月、2月はともに少なく、3か月合計では少なかった。

(注) ある期間に観測された値の最大値(最高値)または最小値(最低値)を「極値」という。

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	12~2月	12月	1月	2月
平均気温平年差： 階級	+0.7 :高い	+1.1 :高い	+0.5 :高い	+0.4 : 平年並
降水量平年比： 階級	103% : 平年並	103% : 平年並	97% : 平年並	112% : 平年並
日照時間平年比： 階級	104% : 平年並	109% : 多い	108% : 多い	96% : 平年並
降雪量平年比： 階級	43% : 少ない	16% : かなり少ない	55% : 少ない	42% : 少ない

春(3月~5月) - 高温・かなりの少雨・かなりの多照 -

天気は概ね数日の周期で変化した。3月は、冬型の気圧配置は一時的で寒気の影響が弱く、高気圧に覆われて晴れた日もあったため、かなりの少雨、多照となった。4月は、低気圧と高気圧が交互に通過し、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込みやすかったため気温は高かったが、低気圧の通過後は一時的に寒気の影響を受け、気温の変動が大きかった。また、中旬は日本海で急速に発達した低気圧による影響で、大雨や大荒れの天気となった所があった。5月は、高気圧に覆われて晴れた日が多く、かなりの高温、かなりの少雨、かなりの多照となった。

気温は、3月は平年並で、4月は高く、5月はかなり高く、3か月平均では高かった。

降水量は、3月、5月はかなり少なく、4月は平年並で、3か月合計ではかなり少なかった。

日照時間は、3月は多く、4月は平年並、5月はかなり多く、3か月合計ではかなり多かった。

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	3~5月	3月	4月	5月
平均気温平年差： 階級	+0.8 :高い	+0.2 : 平年並	+0.8 : 高い	+1.5 : かなり高い
降水量平年比： 階級	72% : かなり少ない	70% : かなり少ない	103% : 平年並	46% : かなり少ない
日照時間平年比： 階級	115% : かなり多い	117% : 多い	108% : 平年並	121% : かなり多い

夏(6月~8月) - かなり遅い梅雨入り・遅い梅雨明け、かなりの多雨・多照 -

6月は、上旬は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、中旬以降は移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かった。太平洋高気圧の勢力が弱かったため、梅雨前線は本州の南海上に停滞することが多く、梅雨前線北側の乾いた冷涼な空気に覆われ、かなりの低温、少雨、かなりの多照となった。7月は、上旬の後半から下旬のはじめにかけて高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、梅雨前線が日本海に停滞することが多く、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、かなりの高温、かなりの多雨となった。また、上旬のはじめと中旬・下旬の中頃には梅雨前線の活動が活発となり大雨となった日があった。8月は、上旬は台風第5号が北陸地方を通過し、中旬以降は湿った空気や前線の影響を受け、かなりの多雨、寡照となり、上旬と下旬は大雨となった所があった。

気温は、6月はかなり低く、7月はかなり高く、8月は平年並で、3か月平均では平年並だった。

降水量は、6月は少なく、7月、8月はともにかなり多く、3か月合計ではかなり多かった。

日照時間は、6月はかなり多く、7月は平年並、8月は少なく、3か月合計では多かった。

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	6~8月	6月	7月	8月
平均気温平年差： 階級	+0.2 : 平年並	-1.2 : かなり低い	+1.8 : かなり高い	0.0 : 平年並
降水量平年比： 階級	145% : かなり多い	55% : 少ない	191% : かなり多い	178% : かなり多い
日照時間平年比： 階級	108% : 多い	129% : かなり多い	117% : 平年並	86% : 少ない

秋(9月～11月) - 低温・多雨で、10月はかなりの多雨・かなりの日照 -

9月は、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上旬に北からの寒気の影響を受けた時期があり、低温、かなりの多照となった。17日から18日は台風第18号が北陸地方を通過し、大雨や大荒れの天気となった所があった。10月は、上旬は天気が周期的に変化したが、中旬は前線や湿った空気の影響で、下旬は台風第21号や台風第22号の影響で、ともに曇りや雨の日が多く、日照時間はかなり少なかった。22日から23日にかけては台風第21号の影響により各地で大雨や大荒れの天気となり、月の降水量は北陸地方平均平年比で1980年に次いで多い方から2位となった。11月は、中旬以降に気圧の谷や寒気の影響を受けて曇りや雨または雪の日が多くなり、気温は低く降水量は多くなったが、上旬は移動性高気圧に覆われて晴れた日が多く、月の日照時間は多かった。

気温は、9月と11月は低く、10月は平年並で、3か月平均では低かった。

降水量は、9月は平年並で、10月はかなり多く、11月は多く、3か月合計では多かった。

日照時間は、9月はかなり多く、10月はかなり少なく、11月は多く、3か月合計では平年並だった。

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	9～11月	9月	10月	11月
平均気温平年差： 階級	-0.5 :低い	-0.5 :低い	+0.1 :平年並	-0.9 :低い
降水量平年比： 階級	121% :多い	89% :平年並	176% :かなり多い	111% :多い
日照時間平年比： 階級	100% :平年並	129% :かなり多い	64% :かなり少ない	110% :多い

12月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、冬型の気圧配置となった日が多く、曇りや雨または雪の日が多かった。中旬と下旬は一時的に冬型の気圧配置が強まり、大雪となった所があった。

断続的に強い寒気が流れ込んだため気温は低く(北陸地方平均平年比で-1.4)、気圧の谷や低気圧の影響も受けたため降水量はかなり多かった(北陸地方平均平年比で136%)。また、日照時間は少なく(北陸地方平均平年比で81%)、降雪量は平年並(北陸地方平均平年比で96%)だった。

年

2017年の北陸地方の平均気温の平年差は+0.1で平年並だった。月別で「高い」階級となった月は、1月、4月で、「かなり高い」階級となった月は、5月、7月だった。「低い」階級となった月は、9月、11月、12月で、「かなり低い」階級となった月は、6月だった。

年降水量の平年比は116%で平年より多かった。月別で「多い」階級となった月は、11月で、「かなり多い」階級となった月は、7月、8月、10月、12月だった。「少ない」階級となった月は、6月で、「かなり少ない」階級となった月は、3月、5月だった。

年日照時間の平年比は107%で平年より多かった。月別で「多い」階級となった月は、1月、3月、11月で、「かなり多い」階級となった月は、5月、6月、9月だった。「少ない」階級となった月は、8月、12月で、「かなり少ない」階級となった月は、10月だった。

なお、気象官署と特別地域観測所の値は表1のとおりで、北陸地方の年平均気温の経年変化は長期的には上昇傾向である(図1)。気象官署と特別地域観測所の季節別の順位更新は表2、月別の順位更新は表3のとおりである。

表1 2017年の北陸地方の年統計値

	年平均気温		年降水量		年間日照時間	
	実況()	平年差()	実況(mm)	平年比(%)	実況(h)	平年比(%)
新潟	13.7	-0.2	2036.5	112	1642.5	101
相川	14.0	+0.1	1762.5	117	1664.2	102
高田	13.6	0.0	3280.5	119	1619.8	102
富山	14.3	+0.2	2699.5	117	1736.8	108
伏木	14.0	+0.1	2540.0	114	1752.3	109
金沢	15.0	+0.4	2703.0	113	1849.5	110
輪島	13.7	+0.2	2307.0	110	1698.2	109
福井	14.6	+0.1	2506.5	112	1763.5	109
敦賀	15.4	+0.1	2760.0	129	1735.6	111
北陸平均		+0.1		116		107

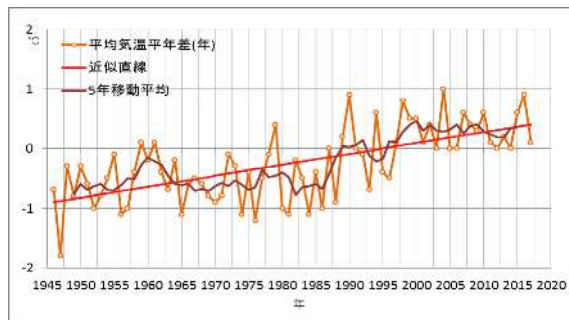


図1 北陸地方の年平均気温経年変化

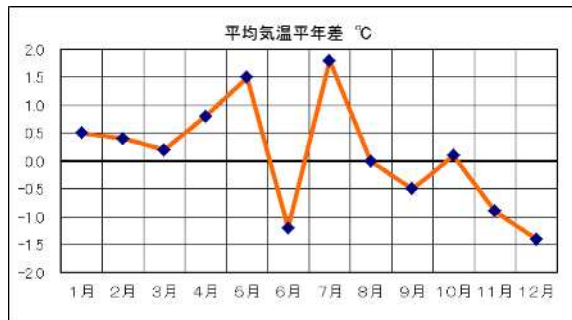


図2 北陸地方の月別平均気温平年差()



図3 北陸地方の月別降水量平年比(%)



図4 北陸地方の月別日照時間平年比(%)

注1：平年値としては、1981～2010年の30年平均値を使用している。

注2：本文中の平年差・比は、北陸地方の気象官署・特別地域観測所平均(9地点)の値である。なお、北陸平均の統計開始は1946年。

注3：表1で、値の横に)がある場合、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、正常値(資料が欠けていない)と同等に扱います(準正常値)。

表2 2017年の季節(3か月)別で順位を更新した記録(3位以内)

3か月間の降水量の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最大(西暦年) mm	開始年	平年値 mm
6~8	2	富山	1037.0	175	1061.4(1961)	1939	591.2
		高田	842.5	166	854.5(1976)	1922	506.3

3か月間の降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最小(西暦年) mm	開始年	平年値 mm
3~5	3	金沢	286.5	63	272.5(2001)	1882	451.3

3か月間の日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最大(西暦年) h	開始年	平年値 h
3~5	3	富山	586.7	118	640.0(1940)	1939	497.2

表3 2017年の月別で順位を更新した記録(3位以内)

月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値	平年差	これまでの最高(西暦年)	開始年	平年値
5	2	輪島	17.4=	+1.7	17.7(2015)	1929	15.7
7	1	輪島	26.0	+2.1	25.9(1978)	1929	23.9
	3	福井	27.5=	+1.9	27.8(1978)	1897	25.6
		敦賀	27.7=	+1.9	28.2(1978)	1898	25.8

注1) =はタイ記録を示す。

月降水量の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最大(西暦年) mm	開始年	平年値 mm
7	1	伏木	566.0	243	559.5(1995)	1884	233.3
	2	富山	579.0	241	592.6(1964)	1939	240.4
	3	新潟	443.0	231	511.8(1958)	1881	192.1
10	3	福井	317.5	219	400.4(1945)	1897	144.9
		敦賀	424.0	314	505.8(1945)	1897	135.2

月降水量少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最小(西暦年) mm	開始年	平年値 mm
3	2	相川	42.5	46	34.0(1999)	1912	91.9
5	3	相川	39.5	37	28.5(1970)	1911	106.8
		金沢	52.0	34	47.5(1967)	1882	155.2

月間日照時間少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最小(西暦年) h	開始年	平年値 h
10	2	相川	86.6	57	73.1(1917)	1911	152.4
		輪島	84.8	60	82.3(1945)	1929	142.0
12	3	相川	23.8	44	23.1(1944)	1911	53.7